

旧競技規則では「解説」および「そのほかの国際競技規則」の章に記載されていたが、新競技規則では明確な記載が無くなったユニフォームおよびチームの身につけるものについての解釈

2015～バスケットボール競技規則	2018 バスケットボール競技規則
<p>解説の章に記載</p>	
<p>「<u>ユニフォームのシャツの下に T シャツを着用することは認められない</u>。」と記載。</p> <p>ユニフォームのシャツやパンツからはみ出さない T シャツ以外のアンダー・ウェア、サポーターなどについては特に禁止されず、はみ出さない部分に関しては色も規定されていない。</p>	<p>(2018 競技規則では)記載なし。</p> <p>【説明】 当該行為の可否について、FIBA へ確認をしたところ(2018 年 4 月)、ユニフォームのシャツの下に T シャツを着用することは認めていないという回答を得られた。</p> <p>【解釈】 ユニフォームのシャツからはみ出さないものに関しては、着用しても差し支えなく、色も制限しない。ただし、ユニフォームのシャツからはみ出すシャツ状のものを着用することは認めないが、国内大会において、着用の可否は主催者の考えにより決定することができる。</p>
<p>「<u>パンツ様ではなくソックス様・ストッキング様の下腿部のサポーターを着用してもよいが、その場合はパンツと同様の色のものでなければならない</u>。同様に、ソックス様・ストッキング様ではない大腿部のサポーターを着用してもよいが、その場合もパンツと同様の色のものでなければならない。また、<u>これらを着用する場合は、下腿部のものはひざ下までのもの、大腿部のものはひざ上までのものでなければ認められない</u>」と記載。</p>	<p>【解釈】 大腿部から下腿部までつながっている形状のもの、あるいは胸部・腹部・臀部・腰部などから下肢までつながっている形状のものの着用は認められる。</p> <p>【参照】 2018 競技規則 4-4-2 脚のコンプレッションスリーブで、黒色か白色あるいはパンツと同じ主となる色のもの。ただし、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。</p>
<p>そのほかの国際競技規則の章に記載</p>	
<p>「<u>テーピングを施した部分がシャツやパンツからはみ出してしまっている場合は、シャツやパンツと同様の色のサポーターを用いて覆っておかなければならない</u>。これは、審判やスコアラーがユニフォームの色をはっきりと識別できるようにするためである。したがって、無色透明のテーピング・テープを用いた場合は、この限りではない」と記載。</p>	<p>【解釈】 ユニフォームシャツやパンツからはみ出している部分のテーピングの色がシャツやパンツと違った場合でも、同様の色のサポーターで覆う必要はない</p> <p>【参照】 2018 競技規則 4-4-2 腕や肩、脚等のテーピングで、シャツと同じ主となる色か黒色か白色のもの。ただし、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。</p>
<p>パンツの長さが膝がしらにかかってしまうような長さのパンツは、公式大会のユニフォームとしては認められない。ただし、身長が成長が著しい小学生の小学生のカテゴリーにおいては、この限りではない。</p>	<p>【解釈】 <u>パンツの裾は膝より上でなければならない</u>。</p> <p>【補足】 ただし、身長が成長が著しい小中学生世代のカテゴリーにおいては、この限りではない。</p>